

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>5. 大河ドラマ「平清盛」放映への対応について</p> <p>2012年1月からNHK大河ドラマが「平清盛」に決定した。過去には1977年から1978年にかけて、NHKの連続テレビ小説として「風見鶏」が放映され、一躍、神戸の異人館が有名になり、今でも神戸観光のシンボリック的存在となっている。</p> <p>異人館街が残ったということが神戸市にとって大変重要なことであった。</p> <p>神戸市内には、兵庫区、長田区、須磨区、垂水区、中央区の一部に平清盛ゆかりの史跡が数多く存在する。大河ドラマの放映により、これらの史跡が脚光を浴び、全国から観光客がやってくるのが大いに期待される。観光客がやってくるように仕組まなければならないと考えている。</p> <p>そこで提案だが、震災前には兵庫区に「歴史花回道」を整備するという構想があった。歴史に沿って、時代ごとにポイントをめぐりコースを整備する構想だが、この構想を兵庫区だけにとどめず、長田区や須磨区とも結び、大観光ゾーンとして発信してはどうか。</p> <p>地元の期待も大きいので、この機会をインナーシティ活性化の最後のチャンスととらえ、全庁一丸となって観光客を呼び込む方策に取り組んでいただきたいと思うが、どうか。</p>	<p>局 長</p>	<p>「兵庫区歴史花回道構想」は、震災前に整備方針が発表され、震災を経て、平成12年3月に兵庫区民まちづくり会議により構想が取りまとめられ、「区別計画」に掲げている“歴史と自然を活かしたうおいのあるまちづくり”を基本方針に『歴史と自然の散策路』の具体化を目指したものである。</p> <p>内容は、兵庫津が西国街道の一大中心地として栄えるなど、広く日本の歴史の節目々々に登場し、歴史転換・展開の舞台となったところであることから、兵庫を舞台とする歴史を5つに分け、歴史のポイントとなる地域と、時代が重なり合う大和田橋周辺を拠点として、各時代のポイントを“花びら状”にめぐることが出来るようになっている。</p> <p>構想発表後、史跡案内看板が平成13年度から平成21年度までに予定箇所である全31箇所が兵庫区と建設局の区局連携などにより設置されたほか、年2回の講演会と花回道のマップが作成されている。</p> <p>大河ドラマ「平清盛」に関しては、8月4日に放映されることが発表され、すぐに清盛にゆかりのある観光資源を把握するため、全庁的に調査を行ったほか、関係課による会議を開始するなど、私どもも大きなチャンスであると思っており、様々な取り組みを行っているところである。</p> <p>企画調整局もメンバーとなっている観光コンベンションビューローを核として、全庁的に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>具体的な取り組み案として、「観光」を所管する産業振興局では、ドラマ放映開始が平成24年1月であることから、それまでの期間にゆかりの史跡等が存在する兵庫区を中心に長田区、須磨区など関係部局・区が広域に連携し、新たなまち歩きモデルコースの開発や案内板の設置などに取り組んでいき、清盛ゆかりの観光ゾーンとしてプロモーション活動を行う予定であり、また、各旅行会社に対し、</p>

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>(再質問)</p> <p>「歴史花回道」については平成7年1月に発表されている。区と局が連携して一生懸命頑張っている。兵庫区の延長線は、長田区の腕塚、首塚、胴塚につながっていく。どう活かしてつないでいくかが重要である。兵庫区、長田区、垂水区とつないでいけば、素晴らしいルートができる。ぬかりがないということであるので、安心してお手並みを拝見しておきたい。</p> <p>インナーシティの活性化ということで、地下鉄海岸線を作ってほしいといったときもインナーシティの活性化のためにしてほしいと言ってきた。若年者の家賃補助についても、インナーシティに限定してやってほしいと言ってきた。震災で中止になっただけで、非常に人気のあった施策だった。あの施策で子ども連れの人々がたくさん住みたいと言っており、うまくいっていた。震災のために、当分凍結したいということで、それはやむをえないと思っている。</p> <p>インナーシティの活性化ということでは、別の角度でいえば、都市再生基本方針の見直しがされている。</p>	<p>局 長</p>	<p>旅行商品を企画してもらうよう働きかけも行っていくことも検討している。</p> <p>「歴史花回道構想」の1つに「大和田の泊と平清盛の時代」が取り上げられていることもあり、現在は主として産業振興局の取り組みであるが、区との連携も重要であり、衆知を集めて取り組んでいきたい。</p> <p>都市再生については、国において基本方針の見直しが進められており、大都市が国際的な競争環境や社会経済状況の変化に対応し、成長していくための都市機能のあり方なども検討していると聞いている。古いまちなみが長田、兵庫に残っているというご指摘もふまえて、国の動向を注視してまいりたい。</p>

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>国による一律の都市計画基準、東京も沖縄も北海道も一律の基準でまちづくりをしろということではなく、大都市が独自の判断、独自考え方で、都市の再生に取り組んでいくという政策である。</p> <p>大震災にやられた長田区、兵庫区でも戦前からの古いまちなみが残っている。大変風情の豊かな下町を活かして、残して、都市を再生していくことを考えるべきだと思う。</p> <p>市街地西部地域において、古いまちなみを残しつつ、新しいまちを創造する観点で「都市再生」に取り組んでいただきたいと考えるがいかがか。</p>		